



より良い世界の ための

より良い投資意思決定
を支援する

[msci.com](https://www.msci.com)





MSCI の目的

金融市場の透明性を高めること
を通じ、より良い世界を実現
するために投資コミュニティが
より良い意思決定を行えるよう
にする

複雑な投資 の世界を

—— 明快に

クライアントがより確かな情報に基づいた投資決定を行えるようにすることこそが、MSCIの職務の中核となります。MSCIのイノベーションの原動力は以下のような点を目指すことにあります：

改善・改良 クライアントに提供する商品とサービスを継続的に改善・改良することで、進化し続ける市場と投資コミュニティの複雑なニーズを反映します。

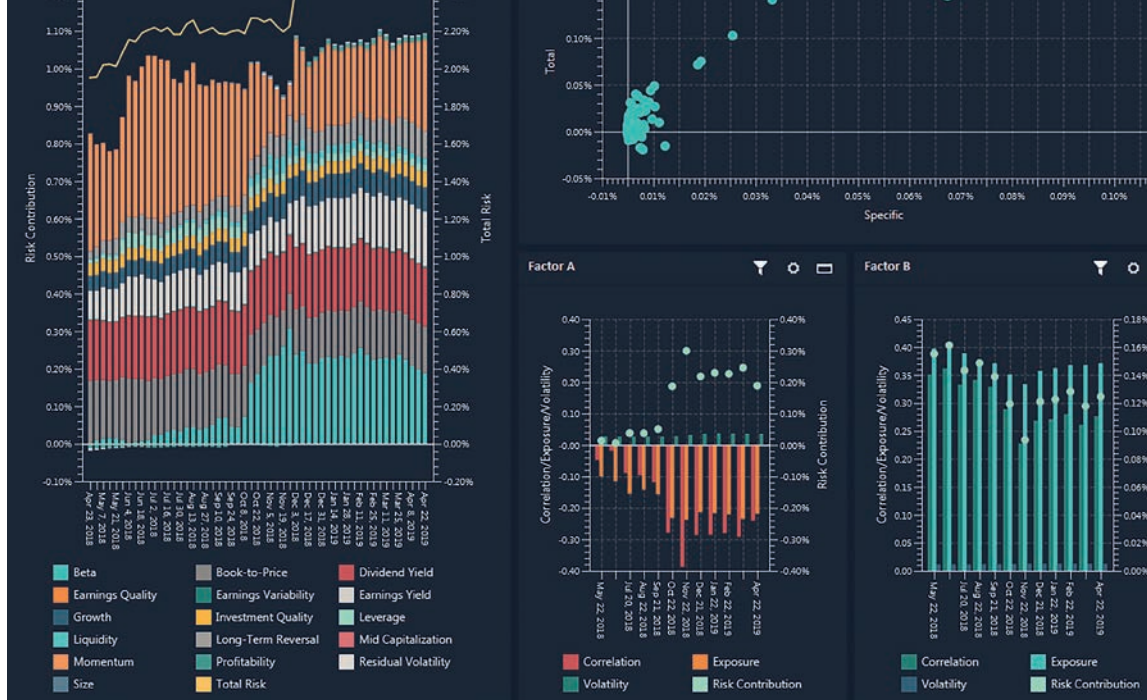
開拓 新しいリサーチとモデルによって投資リスクをより正確に評価します。

サポート 新興市場、上場・非上場不動産を含むグローバルな投資機会をクライアントがより正確に評価することをサポートします。

測定 環境／社会／ガバナンス (ESG¹) 関連リスクや、ファクターリスクおよびパフォーマンスを測定し、モデル化します。

付加価値 グローバルデータの幅広いカバレッジと分析を通じて、クライアントの付加価値を向上させます。

¹ MSCI ESG リサーチ商品とサービスは、MSCI ESG Research LLCによって提供されており、詳細な調査や、環境、社会、ガバナンス関連の商慣習の評価と分析を世界中の企業に提供することを目的としています。MSCI ESG Research LLCによるESG評価、データと分析はMSCI ESGインデックスを構築するのに使われます。MSCI ESG Research LLCは1940年の投資助言業者法（米国）に基づいて登録された投資助言業者でMSCI Inc.の子会社です。



MSCIの競争優位性の源泉

リサーチ

複数の専門分野にまたがる**200名**以上のリサーチスペシャリストから構成されるMSCIのリサーチチームは、資本市場についての深い知識、分析能力、知的探求心を持ち合わせています。

先進的アイデア(ソート・リーダーシップ)を定期的に発表し、タイムリーで役に立つ洞察を提供します。

テクノロジーとデータサイエンスを駆使して、商品開発と拡張性のあるソリューションを推進します。

ソリューション

複数資産クラスのモデルを利用することで、クライアントは一貫した方法でポートフォリオを構築し、評価することができます。

すべての主要資産クラスについて、商品開発からリスク管理、パフォーマンス要因分析にわたる、投資プロセスの全般をサポートします。

MSCIの商品、データ、分析や、意思決定サポートツールは、クライアントがより確かな情報に基づいた投資意思決定を行うことを可能にします。

サービス

専任のスペシャリスト・チームが、最適なMSCIの商品およびサービスの導入を行います。

クライアントサービスプロフェッショナルがグローバルに8か国語で月曜から金曜まで24時間体制で、クライアントのサポートと問題解決にあたります。

クライアントからのフィードバックやサービス評価などの定量・定性的指標に基づき、顧客満足度を向上する努力をします。



世界の投資 リーダー の意思決定に役 立つ情報

イノベーションの最前線から、MSCIは意思決定サポートツール、綿密なリサーチ、透明性の高い手法、グローバルな視野を提供することで、クライアントが直面する複雑な投資の問題解決をお手伝いいたします。

アセットマネジャー、アセットオーナー、銀行、証券、ウェルスマネージャー、その他金融機関はそれぞれ独自のニーズを持っていますが、MSCIの「先進的なアイデア」と「実行可能な洞察」を活用することで、より確かな情報に基づいた投資決定を行うことができます。

価値ある意思決定支援ツールを提供してさまざまなクライアントニーズに応える:

- › ポートフォリオ・パフォーマンスの改善
- › 商品開発戦略の強化
- › 意図せざるリスクの回避
- › 規制当局への報告義務
- › サステナブル投資戦略を統合するための効果的な方法の構築
- › 費用対効果の高い、成長・拡大・革新のための業務運営

MSCIならどのように
より良い

投資意思 決定

を支援できるか

絶え間ない イノベーション

MSCIは世界初のグローバル株式指数を40数年前に導入して以来、その膨大なデータを活用して、MSCIのモデル、分析手法、指数の改善・改良を続けてきました。その成果が、ファクター分類のフレームワーク、詳細なESG²投資の格付けや分析、実物不動産投資のデータと分析、金融商品のベンチマークなどとして結実しています。

柔軟な テクノロジー

MSCIのオープン・アーキテクチャ分析プラットフォームは、クライアントのデータ、システム、ワークフローにシームレスに統合されます。業務全体にわたる高品質、有用な分析が、クライアントが戦略的なリスクを分析し、投資家の課題を解決することを可能にします。

² 4ページ注を参照



コンテンツの 差別化

資本市場の経験・知識、人工知能その他の先進的な科学的分析手法に支えられた豊富なデータ・コンテンツは、幅広いグローバルな市場性・非市場性資産をカバーしています。

実行可能な ソリューション

MSCIは、投資運用プロセスの様々な側面をサポートし、膨大なデータを実行可能な洞察とソリューションに変換することで複雑なグローバル金融市場に透明性をもたらします。

MSCIの価値 が投資の実践に

ウェルスマネー ジャー

にESG³の透明性を提供

クライアントのニーズ:

国際的に活躍するアメリカのウェルスマネージャーが、ESG戦略にフォーカスすることで、世間からの印象を変えてミレニアル世代にアピールすることで新しい資産を呼び込むことを考えていました。

ソリューション:

クライアントであるリテール顧客や投資アドバイザーが、個別銘柄やファンド保有銘柄に関するESG格付け情報に容易にアクセスできる手法を設計・提供しました。

結果:

MSCIの柔軟なテクノロジーにより、クライアントは、若い世代の投資家を引き付けるためのカスタムソリューションを構築することができました。その「インパクト投資」プログラムは、環境/社会/ガバナンス評価を加えた便利なインタフェースにより、成果を出しています。

政府系ファンド

のリスク管理を改善

クライアントのニーズ:

中東最大級の政府系ファンドの一つが、全てのデータをインハウスに保持しながらリスク分析のクオリティを高めたと考えていました。彼らは一部の複雑な計算を自分たちで処理することができず、これら複雑な業務を円滑に行えるプロバイダーを探していました。

ソリューション:

MSCIは、インハウスで複雑な計算を行うために必要なデータを提供するための独自のソリューションを開発しました。そのソリューションは、MSCI BarraOne とModels Directを組み合わせてカスタムで導入するもので、MSCIのプラットフォームをクライアント独自のインフラにシームレスにつなげました。

結果:

複雑な分析は全てインハウスで行われ、付加価値のあるデータが内部での視覚化と意思決定のプロセスをサポートし、投資におけるより厳格なリスク分析ができるようになりました。

投資銀行

の業務拡大を可能に

クライアントのニーズ:

主にヘッジファンドにフォーカスする世界的金融サービス会社のファンド管理チームは、より小規模のヘッジファンドを顧客に加えようとしていました。差別化を図るため、既存の管理業務により付加価値のあるサービスを追加したいと考えていました。

ソリューション:

クライアントがMSCIのBarra Factor Risk Reportingと顧客ヘッジファンドのポートフォリオをシームレスにつなげることで、重要な顧客セグメントに対して効果的なサービスを提供できるような商業モデルを設計しました。

結果:

既存のファンド管理サービスへの付加価値として、顧客がBarraのファクター情報にアクセスできるようになったことで、ヘッジファンドマネージャーは以前には気づかなかったファクター・テイルトを認識することができるようになりました。

³4ページ注を参照



クオンツ・マネージャー

の調査能力を拡張するという計画をサポート

クライアントのニーズ:

米国に本社を置く、クオンツ運用専門の世界的アセットマネージャーが、世界中の企業の環境/社会/ガバナンスに関する商慣習について深い調査を強化したいと考えていました。

ソリューション:

MSCIは、ポートフォリオ構築とレポートのための分析機能に加え、ESG格付けデータとそのヒストリーを提供しました。

結果:

クライアントは、株式ポートフォリオとセパレート運用口座向けに、MSCI ESG₄格付けを統合しました

年金運用マネージャー

の資産配分プロセスを強化

クライアントのニーズ:

米国最大級の確定給付型公的年金基金の一つが、その戦略的な資産配分プロセスを強化するために不動産に関する信頼できる世界的な指標を探していました。当時、不動産の目標配分比率は13%であったのに対し、実際はポートフォリオの10%以下でした。

ソリューション:

MSCIは、統一的分析フレームワークのもとでリスクエクスポージャーを特定・管理するためのBarraOneプラットフォームの有効性を強調しました。彼らは、広範な市場ベンチマークの代わりに、MSCIと米国年金不動産協会(PREA)が共同で算出するカスタムのベンチマークを採用しました。

結果:

クライアントは、2017年4月にMSCIのカスタムベンチマークを採用し、2018年6月には米国で初めてMSCIの米国不動産指数(MSCI/PREA 米国不動産ファンド指数)を不動産資産クラスの正式なポリシーベンチマークとして採用しました。

保険会社の業務運営

を円滑に実行

クライアントのニーズ:

欧州の保険会社の新しいCEOが、新しい運用戦略を資産運用チームに導入し、ポートフォリオ全体の透明性を高め、またチーム内で一貫性のある市場やファンドの測定ツールを使用することを検討していました。

ソリューション:

MSCIは、ポートフォリオ全体を把握できるようMSCI Real Estate Enterprise Analyticsや、カスタムの欧州ベンチマーク、更に各運用チームの情報や特に重要な資産に関する見解を総合的にとりまとめられるようにしました。

結果:

クライアントは、組織全体と運用に関する見解を一つのプラットフォームに搭載でき、それらを戦略的運用プロセスに統合することができました。

進化するポートフォリオソリューション



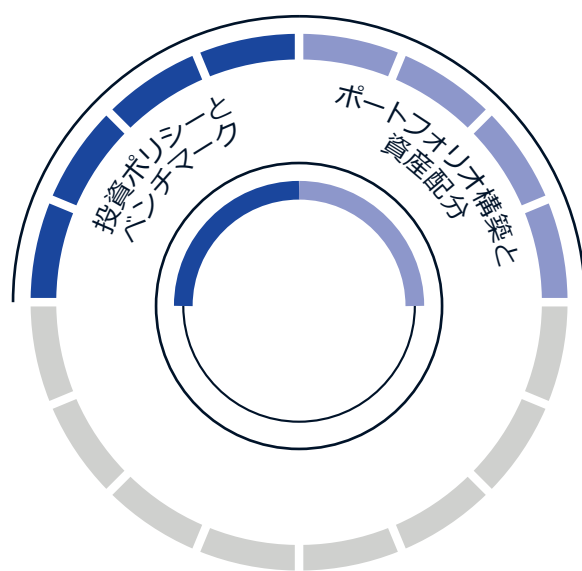
投資ポリシーとベンチマーク

年金基金マネージャーとその他アセットマネージャーに対して、彼らのポートフォリオのポリシーベンチマークを特定・定義できるよう一連のソリューションを提供します。

アセットオーナーとアセットマネージャーは、リスクとリターンのドライバーを適切に評価するため、MSCIのインデックスと分析ツールを使います。

MSCIの分析ツールは、アセットオーナーのリスクエクスポージャーがガバナンス上の制約内に収まっているかを確認する一助となります。

機関投資家のクライアントは、対ベンチマークのセクター・エクスポージャーを比較・レポートするためにMSCIの付加価値のあるデータを使います。



ポートフォリオ構築と資産配分

ウェルスマネージャーは、こだわりのある投資家ニーズに応えるため、MSCIのファクターやモデル、ポートフォリオ構築ツールを使用します。

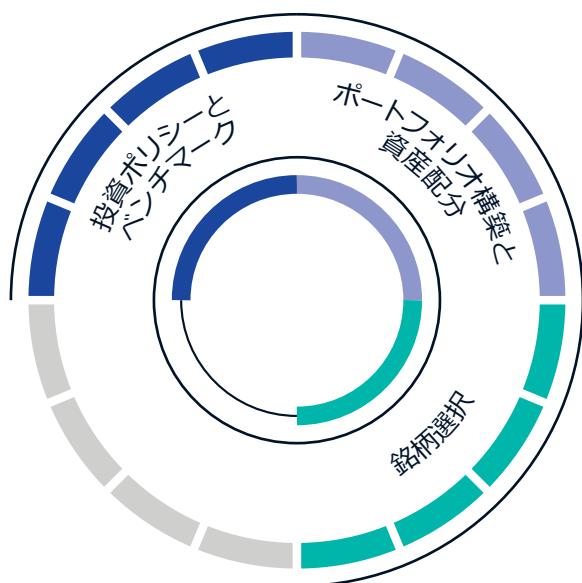
アセットオーナーとアセットマネージャーは、ファクターとESG₅基準というレンズを通して資産を見ています。

アセットマネージャーは、リスクの源泉をピンポイントで特定し、競争力を磨くために、MSCIの最先端のファクターとインデックスツールを使用します。

アセットマネージャーとウェルスマネージャーは、資産配分戦略をサポートするため、MSCIの不動産やESGデータ、分析ツールやリサーチ情報を使用します。

※4ページ注を参照

MSCIのクライアントは、一貫して論理的に、情報に基づくより良い投資決定を行うことができます。投資がますます複雑になっているため、クライアントは、資産クラス全般にわたり国際投資を可能にするデータソースやインデックス、リサーチに裏打ちされたモデルやツールという、MSCIの進化し続けるソリューションを求めています。



銘柄選択

機関投資家は、デューデリ活動を実行するため、MSCIのESG格付けを使ってESG問題を深堀りします。

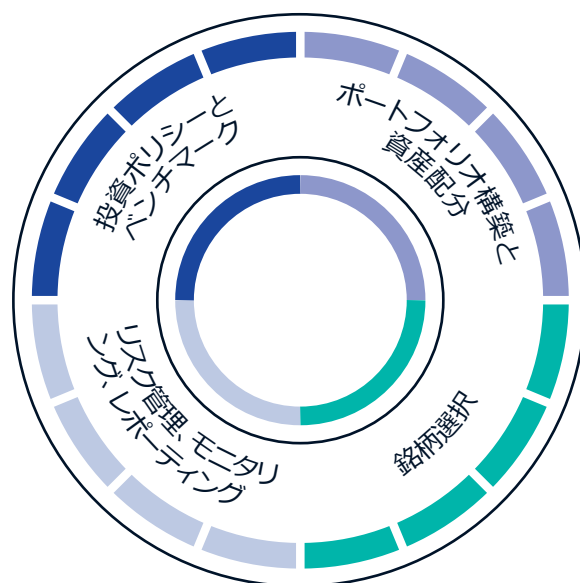
ヘッジファンドマネージャーは、MSCIのリサーチに基づくデータを非常に多く利用しています。

不動産とインパクト投資に関するMSCIの独自リサーチと先進的アイデアに基づき、クライアントはより良い意思決定を行えます。

市場参加者は、統一的に産業やセクターを特定するため、MSCIがS&P ダウ・ジョーンズと共に構築した世界産業分類基準(GICS®)⁷を使います。

⁶ 4ページ注を参照

⁷ GICSは世界的な業界分類基準で MSCI Inc.とS&P Globalによって開発されたものです。



リスク管理、モニタリング、レポート

中央銀行や政府系ファンドは、MSCIのリサーチやデータ、分析のツールを使って、ストレステストを行い、投資のリスク・リターンを評価します。

最高投資責任者 (CIO) は、MSCIの高品質なデータを使って、投資戦略を開発したりテストを行います。

銀行は、流動性リスクを効果的に測定し、規制遵守状況を評価するために、MSCIの商品とツールを使用します。

MSCIのリスクとパフォーマンスのモデルは、**アセットマネージャー**の意思決定手法に整合的に構築されています。

現実世界の 投資問題を 解決する

アナリティックス ESG⁸

MSCIのアナリティックスは、機関投資家に対して、先進の research に裏打ちされたコンテンツに基づくリスク・リターンに関する統一的な見方や、全ての主要な資産クラスと投資ホライゾンにおけるリスクを理解し管理するためのツールを提供します。MSCIの分析プラットフォームである MSCI Beon™は、MSCI コンテンツと、クライアントや第三者からのデータをシームレスに統合します。

MSCI ESGリサーチは、環境／社会／ガバナンス (ESG) リスクを測定・モデル化し、ESGがいかに投資の長期的なリスク・リターンに影響を与えるかを機関投資家が理解する上で重要な洞察を提供します。

この分野を開拓してきたESGリサーチチームは、世界中の何千という企業のESG商慣習に関する深いリサーチやESG格付けや分析を行います。また、それはMSCIのESGインデックスを開発するのに使われます。

ファクター

MSCIはファクター・エクスポージャーを評価、実装、レポートする枠組みを開発しました。MSCIのファクター・ソリューションは、株式や債券、マルチアセットを全てを網羅しています。これらはポートフォリオ全体または個別の資産のリスクとリターン源泉をより良く理解することを助け、ファクターに基づいたソリューションを最適化し、構築するのを助けます。

⁸ 4ページ注を参照



インデックス

MSCIインデックスを使うことで、一貫して完全な方法でポートフォリオ構築とモニタリングが可能となり、ベンチマーク・ミスフィット（不整合）を避けることができます。その中核となるのが、全市場を統合的に扱うMSCIの「Modern Index Strategy」です。また、MSCIはETF（上場投資信託）や先物・オプション取引に対して指数ライセンスを提供しています。

不動産

不動産リサーチとビジネス・インテリジェンスは、パブリックとプライベートな資産両方を網羅しています。MSCIは世界中の機関投資家や不動産所有者、マネージャー、仲買業者に対してツールと洞察を提供しています。MSCIの柔軟な製品とサービスは、投資プロセスにおける様々なチームをサポートすることができ、資産配分や戦略開発と実行、パフォーマンス・レポートも含まれます。

MSCIの全商品とソリューションの総合的なリストは、[msci.com](https://www.msci.com)をご覧ください。

より複雑性を増し、より相互のつながりが増加している世界において、経験したことのない様々な困難が発生する中、より多くの投資家たちは金融リターンに加えて社会や環境にも貢献することを望んでいます。

MSCIはより良い世界のためのより良い投資意思決定を支援します。

MSCIは、世界の投資コミュニティに、重要な意思決定を支援するツールとサービスを提供しています。リサーチやデータとテクノロジーにおいて45年以上の専門知識を持ち合わせ、クライアントのリスク・リターン源泉を理解し分析することで、より効果的なポートフォリオを自信をもって構築し、より良い投資決定をすることを支援します。MSCIは業界を率いるリサーチによって裏打ちされたソリューションを生み出し、クライアントはそれを使用することで見識を深め、投資プロセス全般の透明度を改善することが可能となります。

詳細は、MSCIにご連絡を頂くか、[msci.com](https://www.msci.com)のウェブサイトをご覧ください。

北米・中南米	+1 888 588 4567
中東・ヨーロッパ・アフリカ	+44 20 7618 2222
アジア太平洋地域	+852 2844 9333
日本	+81 3 5290 1520